

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) DOWAエレクトロニクス岡山株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒702-8045 岡山市南区海岸通1丁目3番1号
----	-----------------------------------	----	---

本票作成	部署名：製造部 製造第1課
------	---------------

主たる業種	分類コード	28	業種名：電子部品・デバイス・電子回路製造業
-------	-------	----	-----------------------

事業の概要	磁性粉の製造
-------	--------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	DOWAエレクトロニクス岡山(株)	岡山市南区海岸通1丁目3番1号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 25 年度)
	108,356 t CO <sub>2</sub>	118,079 t CO <sub>2</sub>	107,006 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	DOWAエレクトロニクス岡山(株)	118,079 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 25 年度 ( 4 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 9.0 %	1.2 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量については基準年度約18,100⇒10,983t-CO<sub>2</sub>と減少している。減少の要因についても、製品生産量の低下によるものもあるが、事業所内の省エネルギー活動に起因しているところも大きい。逆に、非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量が、90,200⇒107,096t-CO<sub>2</sub> (H24年度 78,970) と増加している。廃棄物焼却由来の排出量であり、24年度と比較するとトラブル低減等の努力により操業度が増加した結果である。

・基準年度となるCO<sub>2</sub>排出量に対し、目標削減率は▲9%と増加してしまっただが、目標年度の廃棄物焼却量が少なかったことに起因しているものであり、エネルギー使用からみると目標は達成できていると判断する。

**【推進体制】**

1. 省エネルギー推進活動の継続
  - ・ 個人単位での省エネ活動提案（改善提案報告書）
  - ・ 事業所全体での節電活動の推進
2. 省エネ推進組織活動の継続ならびに決算会議での報告

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
DOWAエレクトロニクス岡山㈱	(平成25年度実施分) 1) 消費電力の削減 ・ 窒素製造設備の更新 ⇒ 能力の適正化  ・ バッチ炉の処理改善による電力削減 ⇒ 処理フローの見直しによる電力削減 2) ・ 蒸気減圧弁代替小型蒸気発電機導入 ⇒ 減圧弁による蒸気の減圧を、スクュー式小型蒸気発電機を導入し省エネを図る  (今後実施予定分) 1) 消費電力の削減 ・ 燃焼用ファンの効率化 ⇒ ファン更新による能力適正化 ・ 事業所内電力平準化 ⇒ 消費電力の大きい設備の稼働状況調査ならびに操業形態の改善

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**